

全国初 食品廃棄物由来のバイオエタノール3%混合ガソリン(E3ガソリン)の利用試験の開始

新日鉄エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 羽矢惇)は、技術開発研究所北九州環境技術センターにて平成21年2月26日より、全国に先駆けて食品廃棄物から製造したバイオエタノールを3%混合したガソリン(E3ガソリン)の利用試験を開始いたします。

北九州環境技術センターは、平成17年度より独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)受託事業「食品廃棄物エタノール化リサイクル実験事業」にて、食品廃棄物よりバイオエタノールの製造試験を実施してまいりました。このたびの利用試験では、同事業で製造したバイオエタノールを3%混合したガソリン(E3ガソリン)を製造し、同事業の再委託先である北九州市の公用車や当社の業務車両等に供給して車両の走行試験を行うものです。

E3ガソリンとは、「揮発油等の品質の確保等に関する法律」により定められたエタノールを3容積%以下混合したガソリンであり、本試験では当社がE3ガソリンの特定加工業者登録等を得て、E3ガソリンの製造、給油を行います。

当社は、引き続き食品廃棄物エタノール化リサイクル実験事業、及びE3ガソリン利用試験の実施を通じ、廃棄物のリサイクル技術開発に貢献していきたいと考えております。

**【NEDO委託事業の概要】**

事業名称：食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実験事業

試験期間：平成17年12月12日より 平成22年3月31日まで

概要：北九州市周辺より収集した食品廃棄物を破砕・加水・酵素添加し、廃棄物中のでんぷんを糖化する。この糖を酵母により発酵させ、バイオエタノールを製造する。  
このエタノールをガソリンに3%以下の割合で混合してE3ガソリンを製造し、試験参加社の車両に給油し、走行させる。

バイオエタノール製造場所：北九州市若松区響町1丁目62-20 北九州エコエナジー(株)敷地内

**【E3ガソリン利用試験概要】**

給油場所：北九州市若松区向洋町10-12 新日鉄エンジニアリング(株)北九州環境技術センター

試験期間：平成21年2月26日より平成22年1月末日(予定)

給油対象：約20台(北九州市公用車12台、北九州エコタウンセンター等)

給油装置：以下写真参照

**《E3ガソリンスタンド及び利用車両の公開》**

1. 日時：平成21年2月26日 10時～11時
2. 場所：新日鉄エンジニアリング(株)  
北九州環境技術センター

**〔本件に関するお問い合わせ先〕**

新日鉄エンジニアリング株式会社

北九州環境技術センター 093-751-0780

総務部広報室 03-3275-6030